

## 2 教育委員の自己点検及び評価

【教育委員の主な活動】

(1) 教育委員会会議の開催状況

年度	開催日	議題等件数	出席委員数 (教育長を除く)	会議に付した主な案件
28	4月15日	3	5	平成28年度大阪府教育庁の運営方針について、平成29年度大阪府立富田林中学校入学者選抜方針について 等
	5月12日	6	5	知事からの意見聴取に対する回答の承認について、平成29年度大阪府立高等学校「日本語指導が必要な帰国生徒・外国人生徒入学者選抜」について、平成29年度大阪府公立高等学校「知的障がい生徒自立支援コース入学者選抜」及び平成29年度大阪府立知的障がい高等支援学校職業学科の「大阪府立高等学校に設置する共生推進教室入学者選抜」について、平成29年度使用府立学校教科用図書採択要領及び平成29年度使用高等学校用教科用図書選定の手引きについて 等
	6月17日	3	5	知事からの意見聴取に対する回答の承認について、平成29年度使用高等学校用教科書について 等
	7月15日	1	4	大阪府立学校条例及び大阪府立高等学校・大阪市立高等学校再編整備計画に基づく平成28年度実施対象校選定の考え方について
	8月19日	4	3	知事からの意見聴取に対する回答の承認について、府立富田林中学校における平成29年度の使用教科用図書の採択について、府立支援学校における平成29年度使用教科用図書の採択について 等
	9月5日	1	5	大阪府立学校条例及び大阪府立高等学校・大阪市立高等学校再編整備計画に基づく実施対象校及び再編整備の手法の案について
	9月16日	2	5	平成29年度使用府立高等学校教科用図書の採択について 等
	11月18日	6	5	知事からの意見聴取に対する回答の承認について、平成27年度教育行政に係る点検及び評価結果の報告について、平成29年度大阪府公立学校高等学校の募集人員について、平成29年度大阪府立知的障がい高等支援学校職業学科及び大阪府立高等学校に設置する共生推進教室の募集人員について、大阪府立学校条例及び大阪府立高等学校・大阪市立高等学校再編整備計画に基づく実施対象校及び再編整備の手法について 等
	12月16日	2	5	知事からの意見聴取に対する回答の承認について、平成29年度「府立学校に対する指示事項」及び「市町村教育委員会に対する指導・助言事項」について
	1月20日	4	5	平成29年度公立小・中・義務教育学校、高等学校及び特別支援学校教職員定数配分方針について 等
	2月17日	2	4	平成29年2月定例府議会提出予定の議案について 等
	3月27日	3	5	知事からの意見聴取に対する回答の承認について、平成30年度大阪府公立学校入学者選抜方針等について 等
合計	12回	37	56	

(2) 教育委員意見交換の開催状況

年度	開催日	出席委員数 (教育長を除く)	意見交換を行った主な案件
28	4月15日	5	平成29年度校長公募説明会について 等
	5月12日	5	5月補正予算について 等
	6月17日	5	府立高等学校の再編整備について、平成27年度「教職員の評価・育成システム」評価結果分布の公表について 等
	7月15日	4	教科書採択スケジュールの変更について 等
	8月19日	3	府立高等学校の再編整備について、教育行政の点検及び評価について、総合教育会議について 等
	9月16日	5	大阪スポーツ賞受賞者について
	11月18日	5	平成29年度「府立学校に対する指示事項」及び「市町村教育委員会に対する指導・助言事項」の「取組みの重点」ポイントについて、教職員の全校一斉退庁日の設定とノークラブデーの明確化について、平成29年度当初予算要求の概要について 等
	12月16日	5	平成28年度全国体力・運動能力習慣等調査における大阪府の結果概要について 等
	1月20日	5	正当の理由がなくて出席常でない生徒への指導・退学手続きについて、原級留置者の卒業支援制度（授業料の免除）について、大阪府認定こども園の認定の要件並びに運営に関する基準を定める条例の改正について 等
	2月17日	4	平成30年度大阪府立富田林中学校入学者選抜方針について、平成29年度当初予算案について 等
合計	10回	46	

(3) 大阪府総合教育会議

平成28年度 第1回大阪府総合教育会議

- ・と き 平成28年9月2日(金)
- ・と ころ 災害対策本部会議室(大阪府庁新別館北館1階)
- ・内 容 公私の切磋琢磨と連携・協力による英語教育の充実

(4) その他

活動内容	回数	延べ出席委員数(教育長を除く)
学校等視察(学校視察、教育センター視察、成果発表会視察、中学生生徒会サミット 等)	46	85
議会への出席(府議会本会議、教育常任委員会 等)	6	24
選考会議等での審査員(学校経営推進費選考、校長等選考)	3	5
広報活動(大阪府立スクールカウンセラー新規採用予定者説明会、取材)	2	2
表彰式(文化の日の表彰、優秀教職員等表彰)	2	7
各種会議、式典への参加(全国都道府県教育委員会連合会、近畿2府4県教育委員協議会 等)	6	12

平成 28 年度 教育委員の取組みについての自己点検・評価シート

【井上貴弘教育委員】(平成 25 年 10 月 1 日就任)

教育委員会会議における取組み(主な発言の内容) 【会議出席 12 回】

【平成 28 年度大阪府教育庁の運営方針】(基本方針 1、3 関係)

\*平成 28 年 4 月 15 日開催の教育委員会会議

- ・中学校における教員の英語の発話による授業の成果目標と、支援学校における就職率の現状の数値を明記するよう要望。

【平成 28 年度大阪府教育庁の運営方針】(基本方針 7 関係)

\*平成 28 年 4 月 15 日開催の教育委員会会議

- ・学校の組織力の向上に向けて、校長のマネジメント力が必要であり、学校経営に係る課題の発見や解決のノウハウなど、組織運営についての研修を充実させることを提起。

【平成 29 年度大阪府立富田林中学校入学者選抜方針】(基本方針 2 関係)

\*平成 28 年 4 月 15 日開催の教育委員会会議

- ・平成 29 年度から開校する府立富田林中学校の入学者選抜について、興味をもっている受験者や保護者に対する説明会等の広報活動や、適性検査の例題を提示することなどを提起。

【エンパワメントスクールの平成 27 年度末の状況及び平成 28 年度の新入生の状況並びに平成 29 年度設置予定校の概要】(基本方針 2 関係)

\*平成 28 年 6 月 17 日開催の教育委員会会議

- ・国の成長分野を考える際、理科に興味をもつ人材を増やすことが必要であるので、理科の面白さについて興味をもつ授業の展開など、授業改善の取組みに力を入れるよう要望。

【大阪府立学校条例及び大阪府立高等学校・大阪市立高等学校再編整備計画に基づく実施対象校及び再編整備の手法】(基本方針 2 関係)

\*平成 28 年 9 月 5 日開催の教育委員会会議

- ・能勢高校が豊中高校の分校となり、インターネットなどの技術を使った授業が成功すれば、他校においても、高校間でのディスカッションなど、新しい授業方法として活用できるので、好事例となるよう取り組むことを要望。

【ネイティブ英語教員の配置による今後の英語教育の展開】(基本方針 2 関係)

\*平成 29 年 1 月 20 日開催の教育委員会会議

- ・ネイティブの英語教員の配置については、優秀な人材を獲得するために、恒常化する仕組みを検証し、課題があれば特別な制度を導入することを検討するなど事業の継続を要望。

## その他の取組み

### 【各種行事の視察】（基本方針2、5関係）

＊平成28年7月24日開催の大阪府立高校進学フェア

・マイドームおおさかで開催された大阪府立高校進学フェアを視察。

＊平成28年10月22日開催の大阪サイエンスデイ

・天王寺高校で開催された大阪サイエンスデイ午後の部に参加し、スーパーサイエンスハイスクールの発表等を視察。

＊平成29年2月18日開催のおおさか子どもEKIDEN大会

・ヤンマースタジアム長居（長居陸上競技場）及び周回道路で開催された大阪子どもEKIDEN大会を視察。

### 【その他】

＊大阪府議会への出席 4回（教育常任委員会 3回、教育常任委員協議会 1回）

＊学校視察 6校（府立豊中高等学校 等） ＊選考会議への出席 2回（学校経営推進費選考会等）

## 自己点検及び評価

企業経営者の視点から、社会構造や経済環境の変化及びこれからの社会で求められる人材像に留意しながら、大阪府の教育制度の改善に向けて、あらゆる機会積極的に提言を行った。加えて、自らの業務で知りえた教育に関する様々な情報の教育庁への提供及び業務で培った民間企業と教育庁の連携の支援を行った。また、教育行政や新しい教育の手法に関して、情報収集し研究することにより、教育委員会他様々な会議での議論に貢献できたと考える。

特に、組織運営や評価指標等の民間企業経営と学校運営で共通点が見られる事項や英語教育に関する事項については、提案や指摘を行い、成果を残せたと考える。

反省点としては、定例の教育委員会会議には全て出席できたが、教育現場の視察と教員の方々との意見交換の機会が、期初に想定したよりも少なかったことであり、改善を図りたい。

## 平成 28 年度 教育委員の取組みについての自己点検・評価シート

【竹若洋三委員】(平成 27 年 6 月 2 日就任)

## 教育委員会会議における取組み(主な発言の内容) 【会議出席 12 回】

## 【平成 28 年度大阪府教育庁の部局運営方針】(基本方針 1 関係)

\*平成 28 年 4 月 15 日開催の教育委員会会議

- ・小学校教員の英語指導力の向上を図る研修の実施や、小中学校の英語教育の接続、中学校の英語教育での 4 技能の向上を主眼とした授業など、大阪府として子どもたちの英語力をつける取組みを、一つの方向性をもって進めるよう要望。

## 【平成 28 年度大阪府教育庁の部局運営方針】(基本方針 4 関係)

\*平成 28 年 4 月 15 日開催の教育委員会会議

- ・児童生徒の問題行動について、「問題行動への対応チャート」等の活用などで中学校における生徒指導緊急支援事業の成果が出ているということ、良い取組みであるので学校にアピールし、活用してもらうよう要望。

## 【平成 29 年度大阪府立高等学校「日本語指導が必要な帰国生徒・外国人生徒」入学者選抜】(基本方針 2 関係)

\*平成 28 年 5 月 12 日開催の教育委員会会議

- ・帰国生徒・外国人生徒の高い向学心を大切に、言葉の壁によって退学することなく、卒業率が 100%に近づくようなフォローを実施するよう要望。

## 【エンパワメントスクールの平成 27 年度末の状況及び平成 28 年度新入生の状況並びに平成 29 年度設置予定校の概要】(基本方針 2 関係)

\*平成 28 年 6 月 17 日開催の教育委員会会議

- ・エンパワメントタイムについて、「好き、または得意な教科」と回答する生徒が少なかったことは課題で分析が必要であり、目的意識をもって入学することの重要性やエンパワメントスクールの関係校で集まってプロジェクトをつくるような工夫を提起。また、先進的なキャリア教育に力を入れている「デュアルエンパワメントスクール」については、今後も地元産業とタイアップしたプログラムを進めるよう要望。

## 【平成 27 年度教育行政に係る点検及び評価結果の報告】(基本方針 4 関係)

\*平成 28 年 9 月 16 日開催の教育委員会会議

- ・高校生の不登校については、全国と比べても課題で、中退問題へもつながってくることから、今後は中退の防止にあわせて不登校について検討するよう要望。

## 【平成 29 年度「府立学校に対する指示事項」及び「市町村教育委員会に対する指導・助言事項」】(基本方針 1、2 関係)

\*平成 29 年 1 月 20 日開催の教育委員会会議

- ・アクティブラーニングの授業に関して、子どもたちが主体的に学ぶため、教員の授業力を高め、子どもたちの学力向上につなげていける研修の構築を行うよう要望。

## その他の取組み

### 【各種会議への参加】（基本方針2、3、6関係）

＊平成28年7月11日、12日開催の全国都道府県教育委員会連合会

・水戸市で開催された総会に出席し、文部科学省からの行政説明や、「政治的教養の教育」等をテーマとして意見交換。

＊平成28年11月9日開催の近畿2府4県教育委員協議会

・神戸市で開催された近畿2府4県教育委員協議会に出席し、「教職員の勤務時間の適正化」についての協議や、「学校支援の場の創設や充実に向けた取組み」について情報交換。

＊平成29年1月23日開催の全国教育委員協議会連合会等

・東京都内で開催された全国都道府県教育委員協議会、全国都道府県教育委員会連合会総会に出席し、今後の特別支援教育の在り方について協議。

### 【その他】

＊大阪府議会への出席 5回（教育常任委員会 4回、教育常任委員協議会 1回）

＊学校視察 6校（寝屋川市立石津小学校等） ＊表彰式出席 2回（文化の日の表彰・優秀教職員等表彰）

## 自己点検及び評価

大阪府教育委員就任2年目にあたり、大阪府教育振興基本計画に従って教育行政の推進・進捗状況に視点を置き、課題や諸問題について積極的に意見を述べるとともに提言に努めた。

今年度は昨年の反省から、可能な限り学校現場の視察をはじめ、教育フォーラムなどの各種イベントへの参加に努め、一定評価しつつ、今後の方向性等について提言に努めた。

「全国学力・学習状況調査」の結果については、昨年同様、大阪府教育委員会をはじめ各市町村教育委員会、学校現場の改善に向けた取組みは一定評価できるものの、取組みの顕著な成果が見られない状況について、早急に学力向上支援チーム関係者による分析結果の報告を求めた。

「全国体力・運動能力・運動習慣等の調査」の結果については、府内全体で成果の向上が伺える中、課題克服に向けた取組み等の情報交換の在り方及び、関係団体の活動状況について提言に努めた。

大阪府立高等学校・大阪府立支援学校については、大阪府教育振興基本計画に照らし、その進捗状況を一定評価しながら、一部の課題克服について提言に努めた。特に中途退学防止に対する努力や、不登校の未然防止に力点を置く旨の提言に努めた。

全国都道府県教育委員会連合会では、「政治的教養の教育」をテーマに、また近畿2府4県教育委員協議会では、「教職員の勤務時間の適正化」をテーマにして、それぞれ意見交換や情報交換を行い、大阪府での教育活動の取組み状況の紹介に努めた。



平成 28 年度 教育委員の取組みについての自己点検・評価シート

【岩下由利子委員】(平成 27 年 6 月 2 日就任)

教育委員会会議における取組み(主な発言の内容) 【会議出席 10 回】

【平成 28 年度大阪府教育庁の部局運営方針】(基本方針 1 関係)

\*平成 28 年 4 月 15 日開催の教育委員会会議

- ・英語力の向上について、指導者の力で結果や成績が変わるので、小学校の英語教育を計画的に進めるにあたっては、目標を明確にして取り組むよう要望。

【平成 29 年度使用府立学校教科用図書採択要領及び平成 29 年度使用高等学校用教科用図書の手引き】(基本方針 2 関係)

\*平成 28 年 5 月 12 日開催の教育委員会会議

- ・学校が教科書を選定するに当たっては、子どもたちにとって見やすく分かりやすい教科書であることを一番に考えるとともに、教員にとっても使いやすく教えやすい教科書を選定するよう要望。

【エンパワメントスクールの平成 27 年度末の状況及び平成 28 年度の新入生の状況並びに平成 29 年度設置予定校の概要】

(基本方針 2 関係)

\*平成 28 年 6 月 17 日開催の教育委員会会議

- ・エンパワメントスクールにおける中退の防止について、基本を大切にした授業によって、学習への興味を持たせ、学力を向上させることで中退を防止するよう提起。

【平成 29 年度「府立学校に対する指示事項」及び「市町村教育委員会に対する指導・助言事項」】(基本方針 5 関係)

\*平成 28 年 12 月 16 日開催の教育委員会会議

- ・小中学生の体力向上させるためには特に「運動嫌いな子」「体育の授業が面白くない子」が教員の指導によって達成感を感じられる授業が必要であるため、児童生徒が興味をもつような授業の推進を市町村へ呼びかけるよう提起。

## その他の取組み

### 【各種行事の視察】（基本方針1、2、3関係）

- \*平成28年7月24日開催の大阪府公立高校進学フェア
  - ・マイドームおおさかで開催された大阪府公立高校進学フェアを視察。
- \*平成28年8月25日開催の府立高校における支援教育推進フォーラム
  - ・大東市立文化ホールで行われた府立高校における支援教育推進フォーラムを視察。
- \*平成28年12月26日開催の大阪府教育センター研究フォーラム
  - ・大阪府教育センターで行われた大阪府教育センター研究フォーラムを視察。

### 【各種会議への参加】（基本方針3、6関係）

- \*平成28年10月21日開催の平成28年度都道府県・指定都市新任教育委員研究協議会
  - ・東京で行われた文部科学省主催の平成28年度都道府県・指定都市新任教育委員研究協議会に出席し、「学校現場における業務の適正化に向けて」をテーマとした分科会の協議に参加。

### 【その他】

- \*大阪府議会への出席 4回（教育常任委員会 2回、教育常任委員協議会 1回、就任あいさつ 1回）
- \*学校視察 4校（府立南視覚支援学校等） \*表彰式出席 2回（文化の日の表彰・優秀教職員等表彰）

## 自己点検及び評価

昨年の反省点を踏まえ会議出席や、会議での発言、現場視察等を積極的に行うなど活動を充実させた。今年度は特に現場に出向く事の大切さを痛感した1年であった。現場での校長先生や、他の先生方からの意見、学校の取組みの成果の鏡となる子どもたちの活動を確認する事ができた。まだ4校ほどしか視察ができていないが、いずれの学校とも大阪府ではレベルの高い教育に取り組んでいる内容であった。今後はエンパワメントスクールの視察や、他にも様々な課題に取り組んでいる学校への視察を行ってまいりたい。また、1度の視察で終わらず再視察、継続という形で経過を見ていきたいとも考えている。

私も仕事柄、クラブ活動を通じて大学生、高校生、保護者、トレーナー（フィジカル・メディカル）、学校関係者の方々には接点があり様々な問題・課題に頭を悩ませている毎日である。問題が解決されても継続が出来ないと根本的な改善には繋がらないと考えている。

日々の経験を活かし、全ての問題において否定的な考えを持たず肯定的な考えで改善策が見つかるよう、引き続き意見を述べていきたいと思う。そこでは、相手を思い遣り、常に子どもたちの事を一番に考え、大阪府が抱える問題が少しずつでも改善されていくよう努力をしていきたいと思う。

今年度の活動は充実したものであったので、今年度の活動を基盤に新たにできる事を見つけて行動していきたいと思う。

## 平成 28 年度 教育委員の取組みについての自己点検・評価シート

【良原恵子委員】（平成 28 年 2 月 25 日就任）

教育委員会会議における取組み（主な発言の内容） 【会議出席 12 回】

【平成 28 年度大阪府教育庁の部局運営方針】（基本方針 4 関係）

＊平成 28 年 4 月 15 日開催の教育委員会会議

- ・ 小学校指導体制支援推進事業について、専門家を含めた支援チームを派遣する際は、小学校の場合はほとんどの教員が担任を持っていることを踏まえ、教職員の負担を増やすことなく、中学校への支援とは違う工夫をするよう要望。また、高校におけるスクールソーシャルワーカーの活用については、生徒の通学区域も広く、社会資源の活用による環境調整において質的にも量的にも高い専門性が必要となるので、好事例について、全体で共有するよう要望。

【府立富田林中学校における平成 29 年度の使用教科用図書の採択】（基本方針 2 関係）

＊平成 28 年 8 月 19 日開催の教育委員会会議

- ・ 6 年間を見据えて選定された教科書については、使用に当たって指導する教員の役割が大きいため、中高間で一貫性や継続性について合意形成し、連携を深めることを要望。

【知事からの意見聴取に対する回答の承認】（基本方針 4 関係）

＊平成 28 年 11 月 18 日開催の教育委員会会議

- ・ 生徒指導上の課題については、教員だけではなく、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーにも伝え、全国と比較した大阪の状況を具体的な数字として認識し、今後のより良い活動に反映できるよう要望。

【平成 29 年度「府立学校に対する指示事項」及び「市町村教育委員会に対する指導・助言事項」】（基本方針 1、2 関係）

＊平成 29 年 1 月 20 日開催の教育委員会会議

- ・ 平成 28 年 12 月に行われた教育センターの研究フォーラムの講義でもあったように、アクティブラーニングの授業については、一人ひとりの子どもの状況も踏まえた授業方法等の研修をさらに進め、深めていくよう要望。

## その他の取組み

### 【生徒指導上の課題解決に向けた対応の強化について】（基本方針4 関係）

- \*平成 28 年 4 月 6 日開催の大阪府教育委員会スクールソーシャルワーカー連絡会、小学校指導体制支援推進事業小学校スクールソーシャルワーカー研修  
・教育センターで行われた大阪府教育委員会スクールソーシャルワーカー連絡会、小学校指導体制支援推進事業小学校スクールソーシャルワーカー研修を視察。
- \*平成 29 年 3 月 16 日開催の大阪府教育委員会スクールカウンセラースーパーバイザー・チーフ会議  
・ドーンセンターで行われた大阪府教育委員会スクールカウンセラースーパーバイザー・チーフ会議を視察。

### 【各種行事の視察】（基本方針9 関係）

- \*平成 29 年 2 月 25 日開催の教育コミュニティづくり実践交流会  
・ドーンセンターで行われたた教育コミュニティづくり実践交流会を視察。

### 【各種会議への参加】（基本方針3 関係）

- \*平成 28 年 10 月 21 日開催の平成 28 年度都道府県・指定都市新任教育委員研究協議会  
・東京で行われた文部科学省主催の平成 28 年度都道府県・指定都市新任教育委員研究協議会に出席し、「インクルーシブ教育システムの推進について」をテーマとした分科会の協議に参加。

### 【その他】

- \*大阪府議会への出席 5 回（教育常任委員会 4 回、教育常任委員協議会 1 回）
- \*学校視察 10 校（能勢ささゆり学園等） \*表彰式出席 2 回（文化の日の表彰・優秀教職員等表彰）

## 自己点検及び評価

就任して 1 年が経過した。学校現場の視察や、スクールカウンセラー・スクールソーシャルワーカー事業の連絡協議会、研修会等に積極的に参加した。それらの経験と、さらにスクールカウンセラースーパーバイザーをしていた経験を踏まえて、定例教育委員会会議や参加した連絡協議会では、生徒指導や教育相談領域だけではなく、学校全体を多角的に捉え理解し、提言するよう努めた。

「小学校指導体制支援推進事業」や中学校が対象の「生徒指導機能充実緊急支援事業」では一定の成果を得ており、これは大阪府教育委員会、市町村教育委員会、派遣された専門家、そして学校現場の教職員が一丸となって取り組んだ結果と考える。しかし、依然残っている課題は、より明確な形で浮かび上がってきている。それらの課題に向けての取組みを次のステップに向けての足掛かりとできるよう、今後も様々な立場の関係者と意見交換を行いたい。

昨年度めざした、「児童生徒の課題解決の取組みは、保護者や学校現場をどのように支えるかの視点（個人支援のための体制支援）が重要であり、臨床心理士等の専門性を踏まえながらも現実的なエビデンス、結果を示していく」つまり「（心理面や福祉的な働きかけなど）見えない支援が見える形に表す」ことを、今年度はより具体化できるよう、学校に派遣されている専門家等の意見も聞きつつ、大阪の教育がより推進していくよう教育委員会会議での提言に努めたい。

平成 28 年度 教育委員の取組みについての自己点検・評価シート

【岡部美香委員】（平成 28 年 10 月 1 日就任）

教育委員会会議における取組み（主な発言の内容） 【会議出席 5 回】

【平成 27 年度教育行政に係る点検及び評価点検の結果】（基本方針 4 関係）

\*平成 28 年 11 月 18 日開催の教育委員会会議

- ・小学校指導体制支援推進事業の対象校における効果的なスクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーなどの活用について提起。

【平成 29 年度「府立学校に対する指示事項」及び「市町村教育委員会に対する指導・助言事項」】（基本方針 4 関係）

\*平成 28 年 12 月 16 日開催の教育委員会会議

- ・小・中学校での「特別な教科道徳」の全面実施に向けての取組みの重要性についてや、高校における人権教育の広がりについて提起。

【ネイティブ英語教員の配置による今後の英語教育の展開】（基本方針 2 関係）

\*平成 29 年 1 月 20 日開催の教育委員会会議

- ・英語力をつけるにあたっては、文法や話すスキルだけではなく英語を使う際に必要な社会的側面を踏まえた知識についても指導をしていくことを要望。

その他の取組み

【各種行事の視察】（基本方針 1、4 関係）

\*平成 28 年 11 月 12 日開催の中学校生徒会サミット

- ・大阪府庁及び府議会議場で行われた中学校生徒会サミットを視察。

\*平成 29 年 2 月 8 日開催の子ども読書活動推進ネットワークフォーラム

- ・エル・おおさかで行われた子ども読書活動推進ネットワークフォーラムを視察。

【その他】

\*大阪府議会への出席 5 回（教育常任委員会 4 回、就任あいさつ 1 回）

\*学校視察 5 校（府立西成高等学校 等） \*表彰式出席 1 回（優秀教職員等表彰）

## 自己点検及び評価

平成 28 年 10 月 1 日に就任して以来、半年間、教育委員会会議および教育常任委員会の議事を通して、大阪府・教育行政の組織のあり方や施策の基本方針および課題について全般的に理解するよう努めた。また、いくつかの学校の先進的な取組みについて、実際に従事されている先生方から直接お話をうかがいながら具体的に学ばせていただく機会にも恵まれた。このように、平成 28 年度は、ほとんどの時間を理解と勉強に費やしたが、次年度は、ここで得た知識を踏まえつつ、私がこれまで培ってきた教育学研究の知見と、携わってきた教員養成教育の経験も活かしながら、積極的に提言していきたい。特に次の課題については力を入れて取り組んでいきたいと考える。

- ・エンパワメントスクール全 6 校の視察を行い、特に中学校との接続・連携、地域の教育・福祉ネットワークとの連携、就職へのキャリア教育や進学指導、マイノリティの生徒への支援という観点から、さらなる質的向上に向けた提言を行う。
- ・現在、様々な教育課題を抱えている学校において、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、NPO 等の支援団体との連携が必要不可欠である。この連携がよりスムーズに進むような環境や諸条件の整備について、現場の意見を活かしつつ提言を行う。
- ・今後、支援を必要とする生徒の数が増加することが見込まれている。支援学校・支援学級における教育の質的向上、また、その他の学校における支援教育へのサポートの充実に向けて課題を整理し、その解決・解消への取組みについて提言を行う。
- ・平成 28 年 12 月 17 日には、大阪府立中央図書館で開催された「第 2 回大阪府中高生ビブリオバトル大会」を視察した。その際、館長および司書の方から、中央図書館の通常の活動やその他の行事についても説明をうかがった。生涯学習が推奨される一方で、格差が大きな社会問題となり社会教育の必要性がいつそう高まっている今日、図書館等、社会教育施設の充実と質的向上、そして利用者増加への取組みは重要な課題である。平成 28 年度の視察は、学校教育に関わるものに留まってしまったので、平成 29 年度以降は、社会教育・生涯学習に関する視察や協議・意見交換にも積極的に取り組みたい。
- ・平成 30 年度以降の新しい学習指導要領への移行に向けて、学校はさまざまな対応を迫られている。スムーズに実施されるよう、環境や諸条件の整備に向けて積極的に視察および提言を行う。